

授業科目

陸上競技指導法実習

担当教員名 泉田 俊幸	対象学年	3・4	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	◎

授業の概要

陸上競技の短距離走、ハードル走、長距離走、跳躍、投てき、リレーの各種目の指導法を学生自身が教師や指導者の立場になり、授業する。学生たちが教師役と生徒役になり教授法を学ぶ。

授業の目的

陸上競技の特性を理解して、陸上競技指導法を身につける。

学習目標

1. 学生は指導案を作成し指導者としての素養を身につける。
2. 学生は教師役と生徒役に分かれて、それぞれの立場で授業のあり方を考える。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	陸上競技の指導案の作り方	実習	泉田 俊幸
2	短距離走、ハードル走の指導案作成	実習	泉田 俊幸
3	短距離走の授業法	実習	泉田 俊幸
4	ハードル走の授業法	実習	泉田 俊幸
5	長距離走の指導案作成	実習	泉田 俊幸
6	長距離走の指導法	実習	泉田 俊幸
7	走り幅跳び、走り高跳びの指導案作成	実習	泉田 俊幸
8	走り幅跳びの授業法	実習	泉田 俊幸
9	走り高跳びの授業法	実習	泉田 俊幸
10	砲丸投げの指導案作成	実習	泉田 俊幸
11	砲丸投げの授業	実習	泉田 俊幸
12	リレーの指導案作成	実習	泉田 俊幸
13	リレーの授業法1	実習	泉田 俊幸
14	リレーの授業法2	実習	泉田 俊幸
15	まとめ	実習	泉田 俊幸

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

各種目で作成した指導者役としての指導案および生徒役としての授業実践評価レポートによる。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業初回到連絡する。